



新年、明けましておめでとうございます。今年のお正月は、新型コロナウイルス感染拡大により帰省してご両親やご家族と過ごすことをためられるご家庭が多かったのではないのでしょうか。報道によれば、大都市では感染がさらに広がり、飲食店等の営業時間の短縮等が求められています。首都圏の知事が政府に対して非常事態宣言の発令を要請したと報道されています。木更津市の感染者数は1月3日現在195名です。昨年のお正月よりさらに厳しい環境下での新年の始まりとなりました。

昨年12月19日に30名の保護者の皆様にご協力いただき、仮園舎から新園舎への引っ越しを無事終わることができました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。子どもたちは新園舎での生活にも意外と早く慣れてくれました。子どもたちの適応力に驚いています。以前の園舎は、内廊下がなかったために南風が強くと、雨がかったり砂が保育室まで入り込んだりして子どもたち、保護者の皆さん、職員の皆さんに不自由をおかけしました。新園舎の建設にあたり、そうした不自由さを解消することを第一に考えました。私の心情としては強い南風が吹く日を楽しみにしているのが率直なところです。

新型コロナウイルス感染防止を前提に当園らしい保育実践をどう取り戻していくかが課題です。例えば、3歳以上の子どもたちを中心に行ってきたクッキング、保育参加等の活動や運動会等の行事です。新年度を迎えるにあたり、そうした課題をクリアするための方法を職員会議等で検討していきたいと考えています。

今後、新型コロナウイルス感染がどこまで拡大していくのか、政府が対応策として緊急事態宣言を発令するのかなど、私たちでは判断できないこともたくさんあります。まず、今の自分たちでできることをしっかりやっていくことが重要であると思います。昨年12月25日に木更津市長名で文書が発出されました。保護者の皆様に配布したところですが、家庭内で発熱されたご家族がいらした場合の対応です。「お願い」「協力」という文言になっていますが、感染拡大防止の措置ですので、保護者の皆様にご理解をいただきたいと思います。その要旨は次の通りです。

**園児に症状がない場合でも、同居のご家族に発熱や呼吸器症状(咳やのどの痛み等)などが見られた場合は登園自粛にご協力をお願いします。**

本園でも、先月のお便りでお知らせしたとおり、ウィルスの侵入を防止するために保護者の皆さん、職員を含め来園される方に「マスク着用、検温、手指の消毒」をお願いしています。大方の保護者の皆さんは、「うつさない、うつらない」を意識され、日常生活でも会食を避け、感染防止に努められていることと思います。しかし、感染拡大がさらに進んでいる中で、コロナ慣れをしている方もいるようです。ごくまれですが、検温、手指の消毒をされずに保育室に向かわれる方を見かけます。見かけた場合は声を掛けさせていただいています。しかし、感染経路不明の感染者の割合が増えている現状を鑑み、**今後、ご協力いただけない場合は、園舎内への立ち入りをお断りすることとします。玄関までお子さんを職員がお連れします。**厳しい措置ですが、新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守り、豊かな育ちを保證する保育実践を行うためには守っていただきたいことと考えています。